



きままに 川柳

お題「お母さん」

お便り日和

テーマ「私の怖いもの」

私の怖いもの

地震雷火事親父(肥田町)

怖いものは地震。小学校の時の防災訓練では、「ただ今、震度〇の地震が発生しました！」と放送が流れ、マイクの奥で大太鼓をドンドンドンドンとたたいてるだけなのに、机の下に潜りながら心臓がバクバクしてました。

3・11の時は東北で起きていたのに、土岐市でも大きく横に揺れ、なかなか動揺が治まりませんでした。近いうちに起こるとされてる大地震、落ち着いた行動が取れるように、いろんな備えをしておきたいと思います。

亡き母の笑顔はずーっと若いまま

「元氣かね」留守録にあるお母さん(はは)の声

どっしりと貫禄家のお母さん

逝ってより逢いたさ募るお母さん

姉見ると母の面影まっしぐら

お母さん夢を描いて子を育て

母鳥は我が子忘れじじつと抱き

身を粉にし熊手のような母の指

黒いあいつ

怖がり夫(土岐津町)

私の怖いもの、名前を書くのも嫌なのであえてこう書きますが、ゴキ〇リです。あの黒光りした憎々しい感じといい、ササっと機敏に動く生意気さといい、世の中であいつほど受け入れられないものはありません。

そんな私が家であいつに遭ったらどうするか。名前を見るだけでも嫌なのに退治なんて到底できません。あいつに遭ったら息を殺してソーツと素通りし、妻を呼んでくるのが私の仕事です。

怖かったフライト

M K

家庭を持って40年、飛行機に乗ったのは2回のみ。何より怖い経験を3度もしたからである。一つ目は、若い頃に貯金をはたいて行った海外旅行。グランドキャニオンで乗ったセスナ機は溪谷を深く降りたかと思うと急上昇して恐怖の連続だった。二つ目は、八丈島からプロペラ機に搭乗中、雷雲に突入してガタ揺れ。雷鳴と共に客室内は紫の閃光に染まり生きた心地がしなかった。三つ目はニアミス。右へ急旋廻したと思ったら左に遠ざかる小型機の姿が。

頑張っではみるけど

まめ(泉町)

家族でお墓参りをしていたとき、どこからか蝶が飛んできました。蝶好きなの姪っ子が大喜びする傍ら、嫌いな私は必死に「こっちに来るな」と祈っていました。祈りが通じてか蝶は姪っ子の方へ行き、足に止まりました。怖くて泣き出す姪っ子。私にのけてやりたいけれど、同じように動けなくなってしまう私。ご先祖様より蝶よりずっと、姪っ子の涙の方が怖い。だけにごめん、やっぱり克服は無理みたい。

6月1日号の投稿募集

お便りテーマは「私、ハマってます」です。毎日食べても飽きない食べ物、暇さえあればついやってしまう趣味のことなど200字以内(タイトル別)でお寄せください。

川柳のお題は「傘」です。
(1人1句)

締め切りは5月20日(火)です。

■応募・問い合わせ

住所・氏名またはペンネームを明記し、秘書広報課広報広聴係へ。

〒509-5192(住所不要)

☎541111(内線185) / FAX 557763

✉koho@city.toki.lg.jp

※応募多数の場合は採用されない場合があります。また、お便りについては、採用に当たり趣旨を変えない程度で表現を変更する場合がありますので、ご了承ください。掲載の際に投稿者へのご連絡は行っていません。